

# 学校改修工事 前倒し トイレ

**決定**

## 【これまでの予定】

工事年度	学校名
2020	吹上小 第一中
2021	河辺小 吹上中
2022	霞台小 第六中
2023	友田小 新町中
2024	若草小 第六小 第七中 西 中
2025	第七小 今井小 藤橋小 泉 中



## 【9月市議会で示された新しい予定】

工事年度	学校名
2020	吹上小 第一中 吹上中 第六中
2021	河辺小 霞台小 若草小 新町中
2022	友田小 藤橋小 西 中 泉 中
2023	第六小 第七小 今井小 第七中

左の表は、6月の市議会で私の質問に対して答弁された市の学校トイレ改修工事計画です。

私は、あまりにもひどい学校のトイレの現状や、子どもたちはもちろん、保護者のみなさんも「早くトイレを直してほしい」と訴えていることを紹介し、計画の前倒しを求めました。

## 市が「トイレ工事を加速」の方針を示す

その後、9月の市議会において、補正予算が提出され、来年度に吹上中、第六中の工事を前倒しで行うこと、また、その後についても、全体として計画を2年間短縮する計画であることが示されました。

本来であればもっと早く対処すべきであり、まだ4年もかかる計画であることや、東京都が工事費の6分の1を補助する制度が2020年度で終了してしまうことなど問題はありますが、市が「困難」としていた計画の前倒しに踏み切ったことは、多くの市民のみなさんの願いが市に届いた結果であると評価し、日本共産党市議団は補正予算に賛成しました。

まだ改修工事が終わっていないトイレ



工事が完了した新町小学校のトイレ



築35年以上の学校ばかりの青梅では、子ども達からは、「学校のトイレが臭い」「暗くて怖い」との声、保護者からは「子どもたちが学校から帰ってくると競ってトイレに入っていく」「トイレをガマンして体調を崩さないか心配」との声が多数寄せられました。

「工事を行うと説明したら、子ども達から拍手がおこった」など、改修された学校では、子ども達の喜ぶ姿が報告されています。

一日も早く、すべての校舎のトイレがキレイになるように市の努力と、東京都の支援の強化も必要のため、引き続き働きかけます。

**台風19号災害  
お見舞い申し上げます**  
復旧への対応や、青梅市の防災対策・対応について、ご意見、ご要望をお寄せください

## 日本共産党青梅市議団

青梅市議会議員

**井上たかし**

活動報告 2019年10月28日発行  
ご連絡は090-8489-5260  
inouetakashi99@gmail.com



# 新市民ホール計画

ついに計画  
見直しへ！

「演劇も、音楽もできない新市民ホール計画」への批判が広がり、市はついに新市民ホールの計画を見直すことを表明しました。

この間、市は批判の強かった「平土間式ホール」などの計画について、「市が検討して、すでに決めたこと」としていましたが、利用団体などがあきらめずに運動を広げる中、今年3月には計画の見直しを求める陳情が市議会で採択されました。これらを受け、市は計画を見直すことを事実上認めてきました(井上たかし一般質問への答弁など)が、6月18日、市議会の特別委員会に具体的な見直しの方針が報告されました。

## 各施設は個別に建設の方針

市の説明によると、当初「今年度内」としていた整備計画の策定期限については延期し(期限は示さない)、今後、市民アンケートを行うなど、あらためて市民意見を聞くこと、ホールの形態については、可動式の座席による劇場

型ホールなども含めて検討すること、国、市、民間の各施設を複合させる建造物にはせず、国、市、民間の「ゾーン」にわけて個別に建設する計画に見直すことが明らかになりました。

市民の批判を受け、今からでも計画を見直すことは評価しますが、施設の集約による計画全体の肥大化や、身近な施設の削減など、引き続き見直し・検討が必要な部分が多くあります。

今度こそ、市民参加を徹底するとともに、公共施設削減ありきの市の方針そのものも見直していくように、求めていきます。



新市民ホールを含む複合施設予定地(現市仮設駐車場)。現在の福祉センター、健康センター、旧教育センターの敷地も含めた市の複合施設と、国の施設(ハローワーク、税務署など)、さらに民間施設もあわせて整備する大型計画のため、難航しています。

買い物、通院のために  
コミュニティバス  
乗合タクシーを

青梅にも

先日、94歳になる方が、私に声をかけてくださいました。「困っている人が多いので、小さなバスを走らせることができないかと市に聞きに行ったけど、『市はお金がないから無理だ』と言われました。どうにかならないでしょうか」ということでした。誰もが気軽に乗れる、身近な公共交通としてコミュニティバスの運行を真剣に検討するべきなのに、市が、いまだに検討すらしていないことは大問題です。

## 消費税増税強行 許せません！

### 「増税は困る」市内事業者に聞きました

市議会の一般質問で、消費税増税を延期すべきことを求めるにあたって、市内事業者の方々に直接お話を伺いました。質問ではこの「生の声」を、市長につきました。

「これまでも原材料の高騰に苦しんできたが、価格には転嫁できないし、品質も落とせない。お客さんはよく見ている(菓子店)」

(増税の際の対応は？の問いに)「ご飯の量を50g減らす(定食屋)」

「上からの報酬は増えない。身銭を切る額が増えるだけ(販売代理店)」

「対応レジが高くて、入れ替えられないので、商売をやめる(サービス業)」

「8%増税で家族連れ客はいなくなった。次はどうなるのかわからない(レストラン)」

増税ストップを求める私の質問に対し、市長の答弁は、政府の言い分をただ読み上げるだけの、実態を直視していないものでした。これでは、市内の業者は守れません。

結局、安倍政権は10%増税を強行しましたが、8%増税以降、家計の消費が月2万円も減少するなど、消費税増税はくらしに大打撃をあたえます。私たちは、これからもあきらめず、「まず5%に戻せ」と求めていきます。